

「地区防災計画」のあるまち・元町

基本方針:北海道胆振東部地震にて、札幌市内で最大の震度6弱を記録した元町では「自助」と「共助」をまとめた地区防災計画を作成しています。

【元町地区が取り組む「自助」】

再び、北海道胆振東部地震のように大きな揺れやブラックアウト、断水が起ころうとも困らないように「自助」に取り組んでいく！

(1)平時における取り組み

家の耐震化と家具固定・配置見直し


- ・ 寝室の家具の固定、配置の見直しをして安全を確保する。
- ・ テレビやその他の家具の配置を考える。
- ・ 食器棚の扉の開閉防止、ガラス飛散防止の対策も行う。

水と食料の備蓄最低3日分

- ・ 飲料水は最低1日1人3リットル、3日分備蓄する
- ・ 風呂場に水を溜めておくなどしてトイレの水も確保する
- ・ 食料も3日分備蓄する
- ・ 冷蔵庫の食材を調理できるようにカセットコンロなども備蓄する

灯り・情報・暖房を確保

- ・ 懐中電灯、LED照明、手回し充電付ラジオ、モバイルバッテリーを確保する。 ※懐中電灯は毎日枕もとにおく
- ・ 冬季に備え、ポータブルストーブ、防寒衣、毛布なども備蓄する

プラスワンポイント  非常用トイレの備蓄、車のガソリンは半分になったら満タンにする。お薬手帳、金品などの貴重品や大切なものをすぐ持ち出せるようにする。

(2)地震発生時における取組

揺れがきたら


落ちてこない、動いてこない、倒れてこない・割れない場所で身を守る。

揺れがおさまったら

部屋のドアや玄関を開けて避難経路を確保する。**火器の確認**をして、風呂場に水を溜める。

避難するとき

ブレーカーを落とし、ガス栓を締め、水抜きを行う。靴を履いて、足を守り、非常持ち出し品を持ち出す。

プラスワンポイント  自宅の玄関に「無事サイン」や「避難済みサイン」を残す。家族の安否確認を行う。

【元町地区が取り組む「共助」】

再び、北海道胆振東部地震のように大きな揺れやブラックアウト、断水が起ころうとも困らないように「共助」に取り組んでいく！

(1)安否確認

町内会、学校、隣近所で協力しあい、全員で地域内の安否確認を行う。特に、独居老人や体の不自由な方などの要配慮者の安否確認をする。

(2)元町地区災害対策本部

震度5弱以上の地震が発生したら、地域の情報の収集や発信などを行うために、元町地区では元町災対本部を設置する。

震度5弱以上の地震が発生

1時間以内に、元町まちづくりセンターに「元町地区災害対策本部」を設置する

「災害発生状況」「避難所」「公助」について情報収集し、地域に発信する。災害の被害に基づき地域内の要望を聞く

(3)避難所の開設と運営

避難所の開設と運営の支援

- ・ 区、町内会、学校の役割分担を整理し、「早期の開設、円滑な運営」を行う。
- ・ 運営支援は避難者にも協力を呼びかけ一緒に行う

区役所・学校が開設できないとき

- ・ 区の職員や学校の先生が避難所に到着しておらず、緊急性の高いときには、区役所に連絡をして、暗証番号キーボックス内の鍵を使い、避難所の鍵開けを行う。

避難所の備蓄物資などの確認

- ・ 備蓄物資を適切に使えるようにするため、日頃から学校に備蓄されている物資の確認を行う。

定期的な訓練と研修の実施

- ・ 日頃から訓練や研修を実施して避難所について学び、防災意識の向上に努める。
- ・ 訓練については、学校、消防署、区役所などにも参加してもらう。

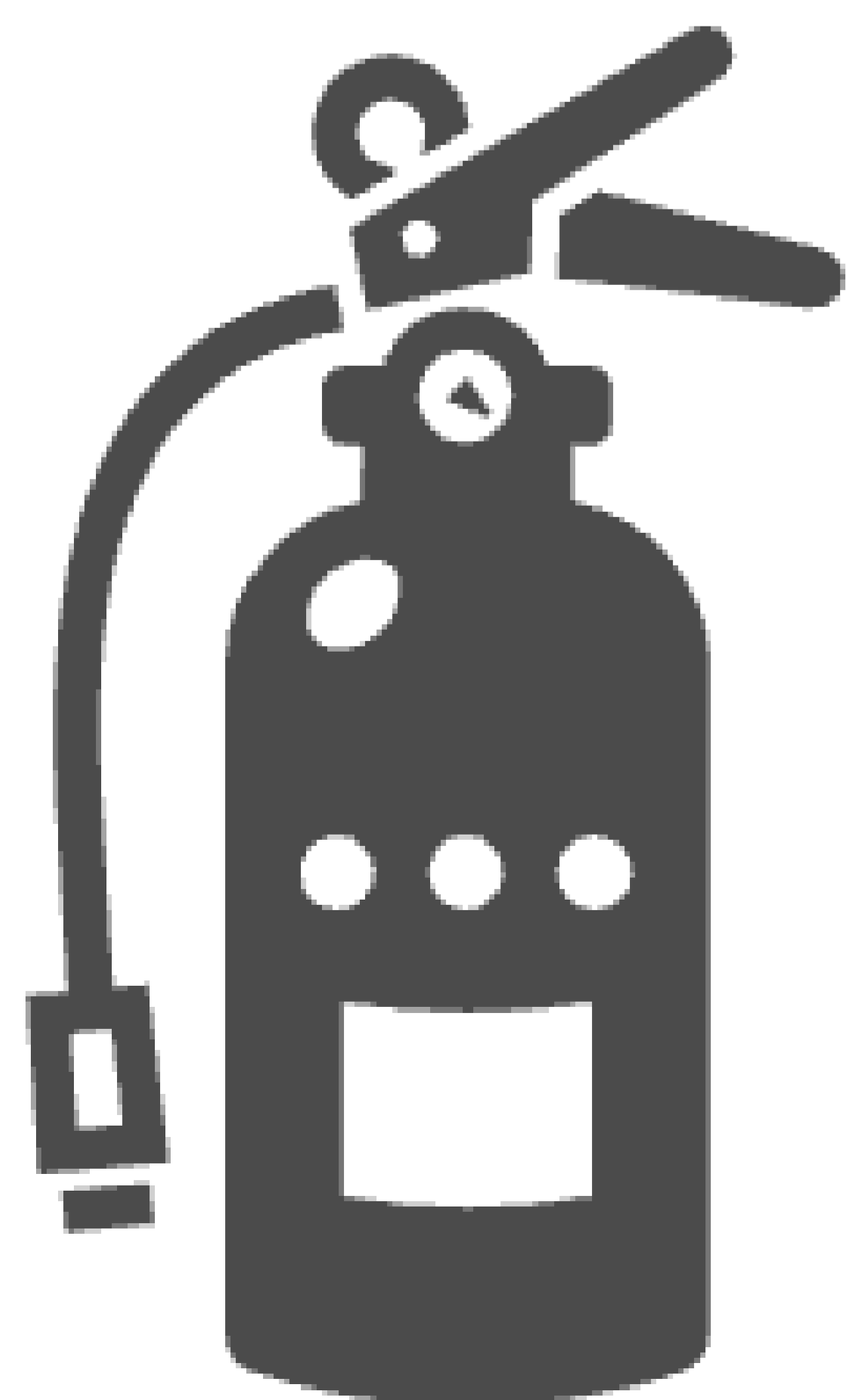
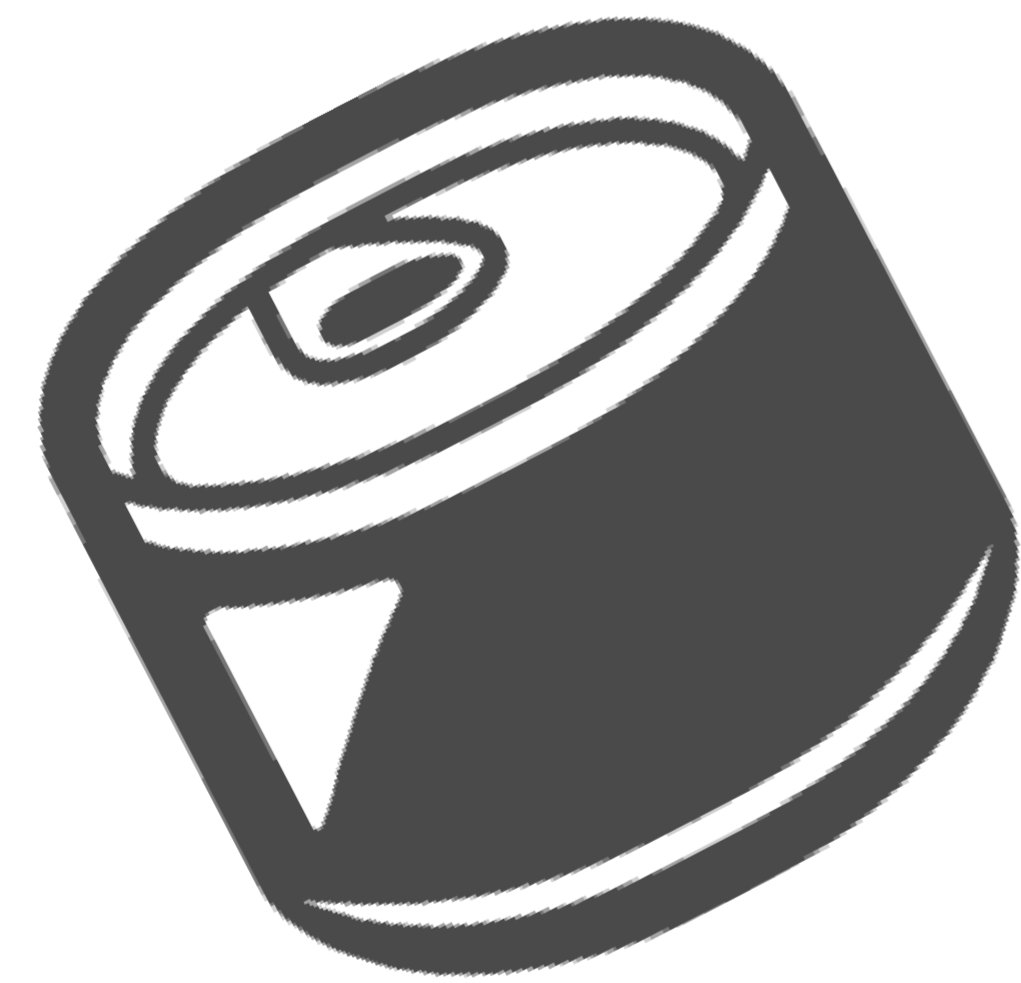
「地区防災計画」

(活動の様子)

地区防災計画策定ワークショップ

防災マルシェ(R4)

防災訓練(R4)



元町まちづくり・お知らせ便

毎月1~2回 元町まちづくり連合会、まちづくりセンター、関係団体、行政からのお知らせを掲載します



10/5

11月25日の元町まちづくり連合会防災訓練の前に、「防災講演会」を開催します。どなたでも参加できます。会場は、いずれも「元町会館」(北20東20)です。

防災講演会 1 11月20日(月)14:00~15:10

「在宅避難と避難所運営の両立」 ~コロナ前には戻らない避難のあり方~

感染症拡大と共に、避難のあり方は多様化しました。避難所に行くだけでなく、在宅避難やホテル避難など、地域住民の所在が分散する事で、どのような課題が出てくるか一緒に考えます。
講師の水口さんは、元気象情報会社勤務の経験と家庭での防災対策の実践をもとに防災啓発活動に取り組んでいます。モットーは、「楽しいを備える」。テレビや新聞など道内メディア出演多数。



【講師】
防災ライフプランナー
水口 綾香 さん

防災講演会 2 11月20日(月)10:30~11:40

「ペットも安心！ 覚えておきたい備えと避難生活」

災害時にペットをどうするか考えたことはありますか？
また、いざ避難所生活を送ることになった場合、あなたのペットはどうされますか？
今回は、災害時に人とペット双方が助かる道を学びます。
講師は、愛玩動物看護師学科主任を務める前鼻さん。災害支援動物危機管理士/動物支援ナースの資格を持ち、全国動物避難所協会の理事も務めています。

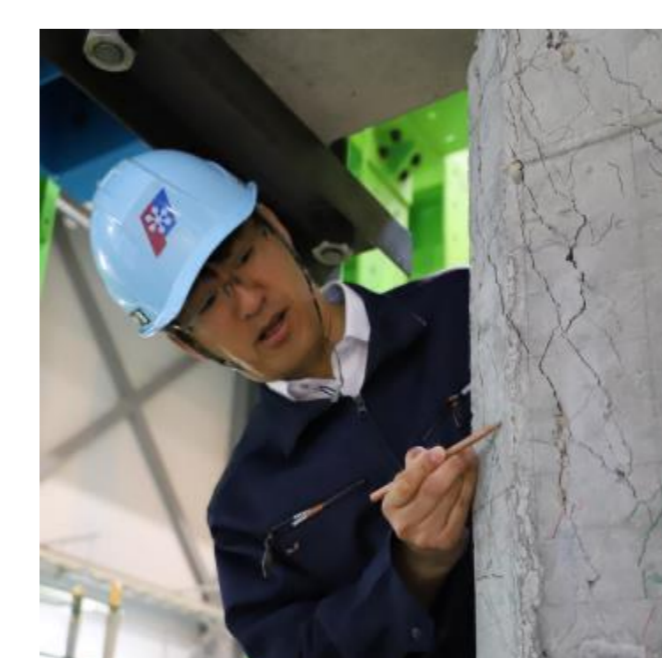


【講師】 吉田学園動物看護専門学校 主任 前鼻 彰人 さん

防災講演会 3 11月22日(水)16:00~16:45

「あなたが住んでいる家は大丈夫？」 ~住宅の耐震改修のすすめ~

「ご存知ですか？古い木造住宅は地震の揺れに弱いことを。」
大地震は、いつでもどこで発生するか前もって知ることはできません。その時のために備えることが重要です。地震後の在宅避難やこれからは安心して住み続けるために必要な古い木造住宅の耐震改修について、模型を使って説明しながら一緒に考えます。講師は、一級建築士等の資格を持ち、建物の研究や被害調査などを行っています。



【講師】 道立総合研究機構建築性能試験センター課長 森松 信雄 さん

【受講料】 無料 【申込・詳細】 元町まちづくりセンター(北20 東20) 電話 781-5375

もっちゃん広場キャラクター
もっちゃん

防災にやくだつこと、
みんなで楽しく
学ぼう！

札幌元町 防災マルシェ

with もっちゃんマルシェ
パンやおかし、野菜などが買えるよ！

簡易ランタンを
作ろう！
身近なものを使って
明るさを比べてみるよ

ふろしきを
上手に使おう！
ふろしきが、防災グッズに
変身するよ

**ポイント
ゲット！**

もっちゃんマルシェ
でお買い物
だがし、パン、おかし
野菜、飲み物など

防災バッグの
重さは？
きみが作った防災バッグ
の重さを計ってみよう。

※小学校4~6年生を対象とした内容になっていますが、それ以外の方も参加できます。

日時: 2022年7月9日(土)14時~16時
※もっちゃんマルシェは12時30分から開始！

場所: もっちゃん広場(元町交流広場)
札幌市東区北19条東20丁目3、元町会館前

主催: 元町の未来へつなぐプロジェクト※、元町まちづくり連合会
※元町地区の中高校生等で構成する元町まちづくり連合会内の任意組織